

施策番号	0805		
施策名	地域の特性に応じた商業振興		
概要	京都ならではの「華やかな都市のにぎわい」を創出することを目指し、地域の魅力を高める商店街づくりや環境への負荷の低減、次代を担う商業者の育成、都心商業地域の活性化等に寄与する取組等を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市商業活性化アクションプラン2011		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価
-----	--	------	------	--------

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 本市は、市内小売業全体販売額に占める中小小売店舗の販売額のシェアが高く、中小小売店舗の状況をよく反映している客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため							
(原因分析) 【客観指標】●市内の空き店舗率については、小売業が廃業した後に、サービス業が開業することで、空き店舗となる店舗数が増えず、空き店舗率としてはa→b評価と安定している。 ●商店街組織に加入している商店の割合については、京都市商業活性化アクションプラン2011に基づく取組を進めた結果、地域の魅力を高める個店の活性化が促進され、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】市外で大規模な商業開発が進んでいるため、市内の商業							

施策名	0805	地域の特性に応じた商業振興									
指標名	市内の空き店舗率（％）										
担当課	商業振興課				連絡先	2 2 2－3 3 4 0					
1 指標の説明											
商店数に空き店舗数を足した数に占める空き店舗数の割合											
2 指標の意味											
3 算出方法・出典等											
出典：事業担当課調べ											
4 数値											
	前回数値	最新数値			推移	目標値					
	21年度	25年度				数値	根拠		達成度		
数値	11.5	11.8			0.3ポイント増	9.8	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（11.5％）と目標数値（平成32年度5.1％）から各年度の目標数値を等差的に算出		79.6％		
	全国順位	中長期目標									